

介護保険に関するアンケート調査

ご協力のお願い

日頃は、介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

津島市では、令和8年度に高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを予定しております。

そこで、計画策定に先立ち、現状の実態把握を図り、今後のより良い介護保険のあり方を検討するため、皆さまへのアンケート調査を実施します。

大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

◇アンケート調査対象について [対象法人数 45 法人]

・令和7年10月31日現在で市内にある介護保険事業所を有する法人

令和7年11月

津島市

複数の介護保険サービスを提供している法人につきましては、実施しているすべてのサービス（事業所）の状況についてお答えください。

《ご記入にあたってのお願い》

- 1 回答は、詳細にご記入ください。
- 2 当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- 3 令和7年10月31日現在の内容でご記入ください。

《調査票の返送について》

- この調査票は、お答えいただいた後、同封の封筒に入れて 12月12日（金）まで に返送してください。封筒には差出人の氏名を書く必要はありません。
- この調査票についてご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

津島市役所 高齢介護課 電話 0567-24-1118

本アンケート調査に係る統計的な処理は、津島市が三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に委託して実施しております。ご回答いただいた内容は、本市と同社で締結した契約、並びに、同社の「個人情報保護方針 (<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>)」及び「個人情報の取扱いについて (<https://www.murc.jp/privacy/>)」に従って適切に取り扱います。ご不明な点は次のお問合せ先までご連絡ください。なお、ご回答いただいた内容の入力は、適切な情報管理ができるデータ入力専門の会社に委託する予定です。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究開発第2部（名古屋）

e-mail : nago_keikaku@murc.jp

貴法人の概要をご記入ください。

名 称			
担当者（記入者）氏名			
連絡先	(TEL)	—	—

問1 サービス整備・提供の意向等について

(1) 現在、貴法人におけるサービス提供はどのような状況ですか。 (○は1つ)

- 1 職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない
- 2 利用者数が少なく、サービス提供量に余裕がある
- 3 サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている

(2) 貴法人における津島市内でのサービス提供の今後の予定について、各項目で該当するものに○をつけてください。

介護サービス等	現在	新規受入について	今後 ※1～4のどれか1つに○			
			新たに実施予定	定員を増やす予定	定員を減らす予定	廃止予定
	実施なら○	※1～3のどれか1つに○ 1:受入可能 2:積極的ではない 3:受入不可				
1 訪問介護（ホームヘルプサービス）		1 2 3	1	2	3	4
2 (介護予防)訪問入浴介護		1 2 3	1	2	3	4
3 (介護予防)訪問看護		1 2 3	1	2	3	4
4 (介護予防)訪問リハビリテーション		1 2 3	1	2	3	4
5 (介護予防)居宅療養管理指導		1 2 3	1	2	3	4
6 通所介護（デイサービス）		1 2 3	1	2	3	4
7 (介護予防)通所リハビリテーション		1 2 3	1	2	3	4
8 (介護予防)短期入所生活介護		1 2 3	1	2	3	4
9 (介護予防)短期入所療養介護		1 2 3	1	2	3	4
10 (介護予防)特定施設入居者生活介護		1 2 3	1	2	3	4
11 (介護予防)福祉用具貸与		1 2 3	1	2	3	4
12 (介護予防)福祉用具販売		1 2 3	1	2	3	4
13 居宅介護支援		1 2 3	1	2	3	4
14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護		1 2 3	1	2	3	4
15 夜間対応型訪問介護		1 2 3	1	2	3	4
16 地域密着型通所介護		1 2 3	1	2	3	4

介護サービス等	現在	新規受入 について	今後 ※1～4のどれか1つに○			
			新たに 実施予定	定員を 増やす 予定	定員を 減らす 予定	廃止 予定
	実施なら○	※1～3のどれか1つに○ 1:受入可能 2:積極的ではない 3:受入不可				
17 (介護予防)認知症対応型通所介護		1 2 3	1	2	3	4
18 (介護予防)小規模多機能型居宅介護		1 2 3	1	2	3	4
19 (介護予防)認知症対応型共同生活介護		1 2 3	1	2	3	4
20 地域密着型特定施設入居者生活介護		1 2 3	1	2	3	4
21 地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護		1 2 3	1	2	3	4
22 看護小規模多機能型居宅介護		1 2 3	1	2	3	4
23 介護老人福祉施設		1 2 3	1	2	3	4
24 介護老人保健施設		1 2 3	1	2	3	4
25 介護医療院		1 2 3	1	2	3	4
26 訪問型サービスA		1 2 3	1	2	3	4
27 通所型サービスA		1 2 3	1	2	3	4
28 その他 (具体的に :)		1 2 3	1	2	3	4

※26～27は介護予防・日常生活支援総合事業です。

※28の「その他」は、記載内容がある場合のみ回答してください。

問2 人材確保・育成について

(1) 貴法人では、人材マネジメント上、どのような問題を抱えていますか。

(○は3つまで)

- 1 介護職員などの確保、募集・採用
- 2 介護職員など定着率の向上
- 3 マネジメントを担う人材の確保・育成
- 4 職員の仕事への動機づけ
- 5 職場におけるチームワーク・コミュニケーション
- 6 職員のリーダーシップ力の育成・強化
- 7 職員の専門知識や技術及び基本マナーの向上
- 8 人材育成システムの確立
- 9 人事考課システムの導入
- 10 労働条件の向上(労働時間、勤務体系、福利厚生など)
- 11 組織体制の確立と職場の活性化
- 12 その他(具体的に :)

(2) 人材の確保・定着・育成に関して、貴法人のお考えや取組状況をお教えください。

	○をつけてください ※両方に○も可	
	重要だと 思うこと	取り組んで いること
1 職場の様子や魅力等の情報発信 (SNS 等の活用)	1	1
2 処遇条件の改善	2	2
3 研修の充実等による育成体制	3	3
4 日常的に相談ができる先輩 (メンター) 等の配置	4	4
5 希望するキャリアパスを職員が選択できる仕組みづくり	5	5
6 私生活の状況に応じて多様な働き方ができる仕組みづくり	6	6
7 職員がケアに集中できる環境づくり (ICT 活用等)	7	7

(3) 多様な人材の受入れについて、貴法人において積極的に受入れを行っている人材をお教えください。(複数回答可)

1 未経験者
2 シニア層
3 外国人人材
4 スポットワーク人材
5 その他 ()
6 特にない

(4) 貴法人では、人材育成等に関してどのような課題がありますか。(○は3つまで)

1 研修の対象者が少ないため、内部で効率的な集合研修が難しい
2 外部の研修では、なかなか実務の改善に結びつく内容にならない
3 管理者やリーダーの部下を育成するスキルが十分ではない
4 管理者やリーダーが部下を育成する時間を持てない
5 研修や訓練に力を入れても、すぐに辞めてしまう職員が多い
6 人材紹介会社等に支払う費用の負担が大きい
7 職場で日常業務に取り組んでいるとき、上司や先輩の指導体制がない
8 研修の成果をフォローアップする仕組みがない
9 職員は自分のキャリアを描くことができないので研修への動機づけが難しい
10 その他 (具体的に :)

問3 事業所運営について

(1) ※居宅介護支援事業所のある法人のみお聞きします。

居宅介護サービス計画を作成するにあたって、問題があると考えているのは、どのようなことですか。(○は3つまで)

- 1 ケアマネジャー1人あたりが担当する利用者数が多い
- 2 インフォーマルサービスや地域資源の情報が不足している
- 3 複合的な課題を抱えるケースなど、対応が難しいケースが増えている
- 4 利用者や家族の自立支援の考え方に対する理解が不足している
- 5 利用者や家族の介護保険サービス利用に対する理解が不足している
- 6 ケアマネジャーの業務範囲外の依頼への対応に苦慮している
- 7 給付管理や介護報酬請求業務などの事務作業が多い
- 8 その他（具体的に：）
- 9 特にない

(2) ※居宅介護支援事業所のある法人のみお聞きします。

要支援認定者・事業対象者の介護予防サービス計画を担当（委託を含む）することについて、どのようにお考えですか。

- 1 増やしたい
- 2 現状を維持したい
- 3 減らしたい
→減らしたい理由（）

(3) ※居宅介護支援事業所及び施設サービス事業所のある法人のみお聞きします。

貴法人では、ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、特にどのような点を重視して取り組んでいますか。(○は3つまで)

- 1 基本的な技術や実践的知識の向上
- 2 利用者の状態に応じた介護技術の向上
- 3 ケアマネジメント技術の向上
- 4 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上
- 5 苦情や相談への対処能力の向上
- 6 処遇困難者への対処能力の向上
- 7 ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底
- 8 制度に関する最新情報の取得
- 9 法定研修の受講費を法人から一部または全額補助
- 10 法定外研修の受講費を法人から一部または全額補助
- 11 その他（具体的に：）
- 12 特にない

(4) 業務の効率化や生産性向上に向けて、すでに取り組んでいるものがありますか。またどのようなことに取り組みたいですか。(複数回答可)

取組内容	取り組み中	取り組みたい
1 従業員同士のコミュニケーションの円滑化	1	1
2 小集団での業務改善活動	2	2
3 業務内容の標準化	3	3
4 役割分担の明確化・見直し	4	4
5 周辺業務のアウトソーシング	5	5
6 I C T導入・情報共有の効率化	6	6
7 介護機器・ロボット等の導入	7	7
8 腰痛防止対策	8	8
9 利用者のハラスメント対策	9	9
10 その他()	10	10

問4 地域連携・市の施策について

(1) 社会資源に関する相談を生活支援コーディネーター(社協)に相談できることを知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っており、相談したことがある
- 2 知っているが、相談したことはない
→理由()
- 3 知らない

(2) 海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさぼ)を知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っており、利用したことがある
- 2 知っているが、利用したことはない
→理由()
- 3 知らない

(3) 海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさぼ)の役割として今後の充実を期待するがあれば具体的に記載してください。(自由記述)

(4) 多職種の連携を進めるために、特に何が必要だと考えますか。（○は3つまで）

- 1 各職種の専門性や置かれている状況の理解
- 2 顔の見える関係づくり
- 3 役割分担の明確化
- 4 利用者情報の共有
- 5 ICTツール（電子@連絡帳）の導入・普及
- 6 あまさぽの活用・強化
- 7 多職種連携に関する研修会
- 8 利用者や家族の理解
- 9 その他（具体的に：）

(5) 認知症に関する以下の取組について知っていますか。（複数回答可）

- 1 認知症介護家族交流会
- 2 認知症家族支援プログラム
- 3 認知症初期集中支援チーム
- 4 認知症カフェ
- 5 認知症サポーター養成講座
- 6 つしまオレンジサポーターの会
- 7 認知症高齢者等事前登録
- 8 高齢者等見守りシール
- 9 認知症高齢者等個人賠償責任保険
- 10 かえるネットつしま
- 11 1つも知らない

(6) 介護を必要とする方ができる限り長く在宅生活を営むために、津島市では、第10期計画期間（令和9年度～令和11年度）に、特にどのようなことの充実を図る必要があるとお考えですか。（○は3つまで）

- 1 介護予防や社会参加の支援
- 2 虚弱高齢者が元の生活に戻るための支援（リエイブルメント）
- 3 多様な主体が実施する生活支援サービスの拡充
- 4 自立支援に資するケアマネジメントの推進
- 5 地域での見守りや安否確認、住民同士の助け合い
- 6 食事の準備や買い物など、日常生活の支援
- 7 訪問看護や訪問診療などの在宅医療
- 8 利用者の状況に応じて柔軟に訪問等ができるサービスの整備
- 9 認知症の人が生活しやすい地域づくり
- 10 家族介護者に対する支援
- 11 その他（ ）

(7) その他、介護・高齢者福祉に関することでご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

（7）その他、記入欄

アンケートはここまでです。ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れてご返送ください。